

**令和4年10月19日**

**鳥取県知事定例記者会見**

# 令和5年度当初予算編成・政策戦略会議キックオフ

10/20「当初予算編成・政策戦略会議」で令和5年度当初予算編成スタート

## <当初予算編成方針>

○令和5年度当初予算は、統一地方選挙を控え、骨格予算編成

○切れ目なく実施する必要がある事業については積極計上

◆新型コロナ感染症への対応（感染防止対策、機動的な医療提供体制の確保など）

◆インバウンドの本格的な再開等のコロナ禍や物価高・円安を乗り越える対策

（地域経済回復、中小企業等の経営再建、インバウンドも含む観光需要回復、飼料・肥料価格高騰対策など）

✓ 国の「総合経済対策」や補正予算等の動きも注視

## <新型コロナ対応を踏まえた予算編成作業の更なる省力化を徹底>

➤ 各種資料の簡素化（※予算要求資料の厳選、議案説明資料のオートメーション作成機能の活用）

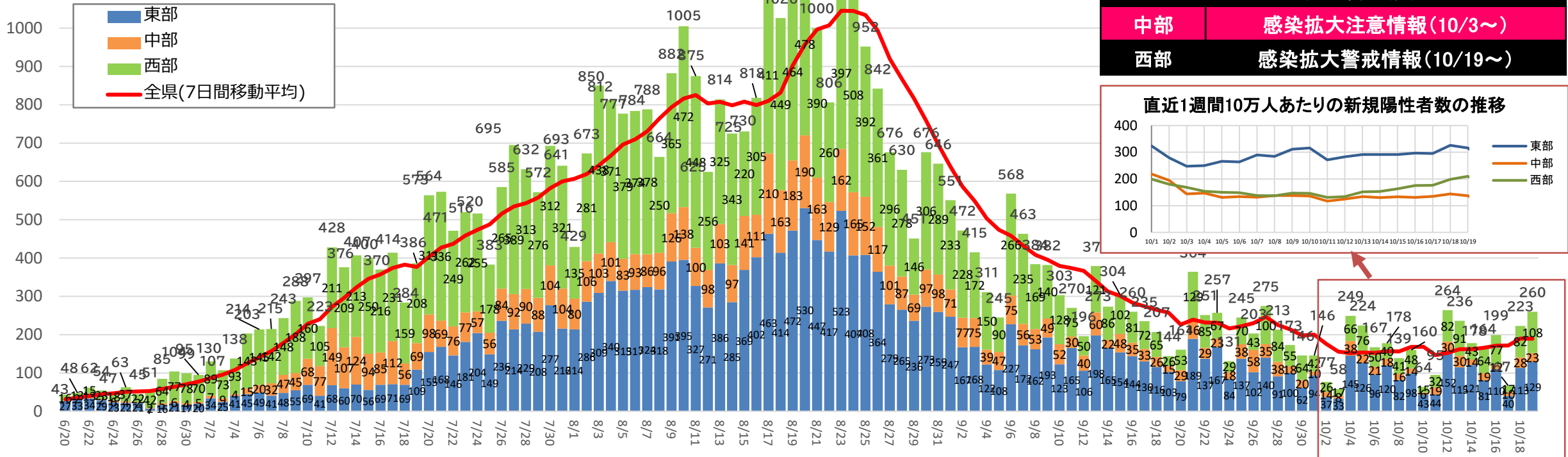
➤ 編成作業の分散化（※肉付予算は年度明けに編成作業を実施）

➤ オンラインを活用した聞取作業の効率化（※聞取のための地方機関等の出張不要）

# 新規陽性者数の推移

過去最多  
8/20 1,198人

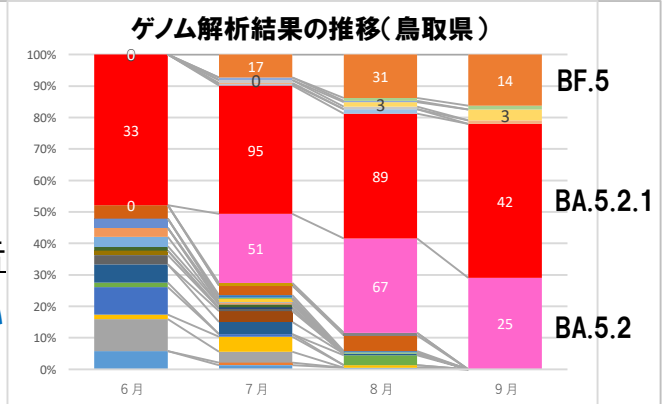
## 【新規陽性者の推移】



東部	鳥取県版新型コロナ注意報(10/13~)
東部	感染拡大警戒情報(9/15~)
中部	感染拡大注意情報(10/3~)
西部	感染拡大警戒情報(10/19~)

## 世界の感染傾向

- 世界の感染者数は全体的には減少傾向。欧州では増加傾向が見られる
  - ・ドイツ、フランス、イタリア、シンガポール等で増加。【新規感染者数(3週間前比)】ドイツ:約2倍、フランス:約1.5倍に増加
- 99%以上がオミクロン株(直近30日間の報告検体)
  - ・BA.5系統(76.2%)が最も優勢。次いでBA.4系統(7.0%)、BA.2系統(3.9%) (直近1週間の報告検体)
  - ・BA.5.2系統やBA.5.2.1系統が主流。その他「BA.2.75」、「BA.4.6」など様々なオミクロン亜系統が報告
- 今冬はインフルエンザの流行が懸念。予防のためのワクチン接種をご検討ください
  - ・南半球のオーストラリア等では、2022年は例年より早い6月をピークにインフルエンザが流行



# 最近のクラスター発生状況

- ・ 高齢者施設でのクラスターが多発するとともに、医療機関での大規模クラスターも発生
- ・ 秋の行事や部活動に関連する学校・保育所等でのクラスターも発生
  - 場面や施設に応じて、基本的な感染防止対策の徹底をお願いします。
  - 感染が生じた施設でのゾーニング等の拡大防止対策徹底もお願いします。（ガウン着脱等で拡大も）

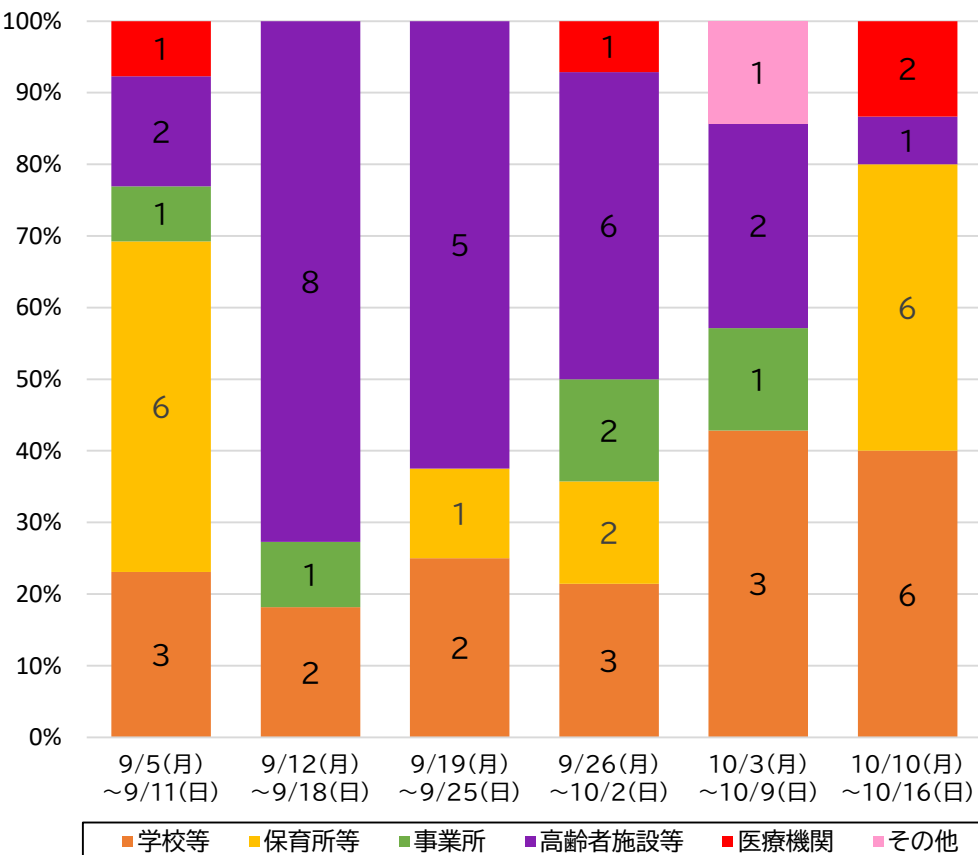
## 【感染防止対策が不十分であったと認められる内容】

### ■ 学校・保育所

- 体調不良を自覚しながら登園・登校・行事・部活動への参加
  - 児童・生徒及び保護者への協力依頼。特に行事・部活動
- 空気の流れを意識した換気・マスク非着用時の対応が不徹底
  - こまめな換気の徹底、運動中などマスクを非着用時は会話をしない、昼食時黙食の徹底

### ■ 医療機関・社会福祉施設

- 職員または入院時検査から陽転が疑われる事案
  - 医療機関内で陽性が判明した場合に積極的な検査実施による早期発見
- 職員のN95マスク、防護具の着脱方法に不備
  - 個々の職員の行う感染防止対策の定期的な研修、教育の実施
- 換気が不十分かつ密な状況
  - 時間差利用で密回避、サーキュレーター等による換気を実施
- 接触箇所（ベッド柵、テーブル等）が適切に消毒できていない
  - アルコールを十分に浸したペーパータオルで一方向に向けて拭く



# 鳥取県新型コロナ・インフルエンザ同時流行対策基本方針

## ステージⅠ

同時流行が比較的抑えられている状態をできるだけ保つ

→鳥取県は診療・検査医療機関が約93%であり、これを活かして県民の命と健康を守る

### ● 県民・医療機関との情報共有(東中西部)

<新型コロナ> 感染拡大注意情報・警戒情報、新型コロナ注意報・警報・特別警報

<インフルエンザ> インフルエンザ流行情報、インフルエンザ注意報・警報(全県)

▶ <同時流行> **新型コロナ・インフルエンザ  
同時流行警報**

### ● 新型コロナ・インフルエンザ感染抑制 ⇒感染の波を低く or 遅く or 同時にしない

- ・ 基本的な感染対策徹底の呼び掛け (場面に応じた適切なマスク着用、手洗い・消毒、エアロゾルを意識した換気、3密(密接・密集・密閉)回避 など)
- ・ 早期外来受診の呼び掛け ・ 年末年始等の診療・検査体制の確保
- ・ 疫学調査によるクラスターの拡大防止、早期封じ込め

### ● ワクチン接種 ※インフルエンザを含む接種の必要性について、各種メディアで広く県民に周知

- ・ 同時接種体制がとれるよう医療機関に協力を要請 ・ 同時接種可能な県営接種会場を開設予定
- ・ 県、市町村はコロナワクチン単独接種の体制も強化

## ステージⅡ

同時流行による医療負担が高まっている状態

- 病床確保レベルアップ → 新型コロナ即応病床の拡大
- 外来診療レベルアップ → 診療時間の延長、夜間休日診療体制の強化等を検討
- 行政検査(PCR検査)の活用 → 発熱者等に対し、行政検査(PCR検査)をゆるやかに拡大

## ステージⅢ

同時流行が深刻化し医療負担が顕著となった状態

- 国の想定手法への切り替え [ 小児(小学生以下)・妊婦・基礎疾患がある方・高齢者(65歳以上) ⇒速やかに医療機関を受診  
それ以外の方 ⇒検査キットで自己検査
- 行政検査(PCR検査)の更なる拡大運用(県) ● 検査キット配布による自己検査の実施(各地区指定場所での配布を想定)(県)

# 新型コロナ・インフル同時流行に備えて

## 無料検査(PCR検査等)の延長

無料検査を**11月30日まで延長**しますので、ご活用ください。(県内無料検査所:101カ所)

### ○感染拡大傾向時の一般検査事業(鳥取県民対象)

不特定多数の方と接触する等、感染リスクの高い行動をされた方は、積極的に受検を(特措法第24条第9項による受検要請)

### ○ワクチン・検査パッケージ・対象者全員検査等定着促進事業(県外者対象) → **当面、本県の独自施策で継続**

旅行・帰省等で検査が必要な方にも、ご利用いただけます。

※他の都道府県は全て令和4年8月末で終了

## 業種別ガイドラインの見直し

感染防止対策と経済活動の両立のため、**国から示された基準とこれまでの知見を踏まえ、各種ガイドラインを改訂中**

⇒**イベント、飲食店、宿泊施設のガイドラインは、10/21までに改訂、その他のガイドラインは、10月末までに順次改訂**

<見直しの具体例>

- ・国の基準に合わせた対策:パーティションは空気の流れを阻害しないよう設置 など
- ・県独自に追加する対策:注文用のタッチパネルはお客様ごとに消毒 など

## 病床確保料の上限設定への対応

【国による見直し概要】即応病床使用率50%未満、かつ、コロナ流行前の診療収入の1.1倍を超える場合に減額調整

⇒**10月以降の取扱い変更発表により、医療機関や自治体に混乱が広がっており、病床確保に支障も**

【本県の対応】医療提供体制に多大な影響を及ぼすため、**全国知事会を通じて緊急要望を提出**するとともに、**厚生労働省説明会でも個別に課題提起し、弾力的な運用や経過措置の設定等を要請**

# ワクチン接種の取組(10/19 ワクチン接種体制協議会を開催)

インフルエンザとの同時接種に係る対応について

## 方針

- 同時流行による医療機関負担軽減を図るため、コロナワクチンとインフルワクチンの両方の接種を推奨
- コロナワクチンを接種できる方は速やかに、インフルワクチンは流行をにらんで早めの接種を、両方とも推奨
- 両方接種する際の県民の負担軽減を図るため、県・市町村・医療機関が連携して次の対応をとる
  - ・同時接種体制がとれる医療機関は、可能な限り同時接種体制をとるよう依頼(9/30県医師会等に文書依頼済)
  - ・同時接種可能な県営会場を開設予定
  - ・県、市町村はコロナワクチン単独接種の体制を強化し、コロナワクチン接種をスムーズに実施することで、両方の接種を後押し
  - ・市町村は、可能な限り小児、高齢者のインフルワクチンの助成を行い、県は子育て応援市町村交付金で支援

## 乳幼児接種のワクチン接種について

- 鳥取県独自で小児医療機関への接種加算(1,000円/回)
- メディアの広報を展開し、乳幼児接種を促進



## 高齢者や医療従事者への2価ワクチン接種について

2価ワクチンの接種間隔短縮が、早ければ10月21日から開始  
⇒間隔短縮を活かし速やかに接種できるよう、医療機関、市町村、県が連携・協力



## 2価ワクチンが接種可能な集団接種会場

県営

トリニティモールと県保健事業団本部の2か所を新設  
既存の会場を拡充(庁内日吉津:土曜開催→木・金曜を追加、倉吉シティホテル:土曜開催→金曜を追加)

市町村

開催回数:(9月)55回 ⇒ (10月)94回 ⇒ (11月)111回 ※11月は調整中の町もあり更に増の予定

# コロナ禍、円安、物価高騰を乗り越える

## ○新型コロナ・円安・物価高騰対策支援補助金

10/18~

最大200万円  
最大2/3

中小事業者のコロナ禍・円安・物価高騰への「前向きな取組」を支援  
(例) 省エネ投資、効率化・高収益化、新商品開発、需要確保販路開拓



## ○円安・物価高騰対策グループ補助金

10/14~

最大500万円  
3/4

組合、業界団体、任意グループで取り  
組む円安・物価高騰対策を支援

## ○賃金アップ環境整備応援補助金

10/14~

最大300万円  
2/3

事業所内最低賃金を一定額以上上げる事業者  
に対し生産性向上等に資する設備投資を支援

## ○「食のみやこ鳥取県」バージョン アップ補助金

10/19~

最大300万円  
3/4

飲食店等のこれまでの取組のバージョン  
アップを支援し、国内外からの誘客を促進  
(例) 飲食店での副業・兼業人材など専門人材  
活用による新メニュー開発、食関連イベント等

## ○プレミアム付お食事クーポン券 追加販売も

10/19~

12月20日  
まで

プレミアム率25%のお食事クーポン  
券、プレミアム率43%の安心対策エリ  
ア版割増クーポン食事券

## ○とり旅！ドライブ周遊キャンペーン

10/18~

- ◆5千円以上/泊 給油券千円+無料券1枚
- ◆1万円以上/泊 給油券2千円+無料券2枚

マイカー(バイク含む)又はレンタカー  
を利用する県内宿泊施設(キャンペーン参  
加施設)への宿泊者へガソリン給油券  
と観光施設入館無料券を発行

## ○「ウェルカニとっとり得々割」

## ○蟹取県ウェルカニキャンペーン

実施中

中小事業者支援

飲食店支援

観光支援



# 鳥取県版子どものアドボカシーの試行開始

- 各児童相談所に意見表明支援員を派遣し、子どもの意見表明を支援
- 児相において、子どもの声を引き出す効果的手法や、子どもの権利救済枠組の確立を目指す
- 令和5年度からの本格実施に向け、10月21日～2月上旬まで試行実施
  - ・ 毎週1回弁護士または大学教員が各児相を訪問
  - ・ 子どもが伝えたいことを子どもと一緒に考えて児相に伝え、子どもと共に問題解決を図る

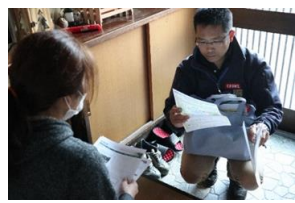
対象児童	一時保護中の児童、措置決定や措置変更を検討する児童
意見表明支援員	弁護士、大学教員

## 「鳥取県災害ケースマネジメント協議会」を設置(全国初！) ～誰ひとり取り残さない被災者生活復興支援を実現～

関係機関の平時の連携及び災害時の実施体制を構築し、災害ケースマネジメントの社会実装を推進

- 設立総会：10月19日（水）午後2時～
- 構成員：知事、全市町村長、県社会福祉協議会長、専門士業団体の長 等

⇒実施体制の整備、知見の収集及び普及、人材養成



### 中部地震からの復興・福興・福高 福高祭2022～アートで福高～の開催

- 日時：10月23日（日）  
10:30～15:00
- 場所：打吹回廊、倉吉銀座通り  
(歩行者天国)

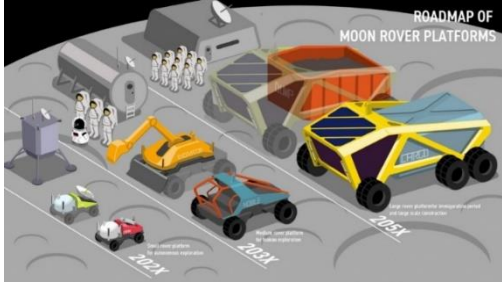
福高トーク  
平井知事と倉吉市出身の脚本家羽原大介氏との対談を実施！



# 県内で行われる宇宙産業創出に向けたプロジェクトを採択

【とっとり宇宙産業ネットワーク・プロジェクト推進補助金】 本県の宇宙産業の創出に向けて県内企業等が連携して取り組む開発・実証を支援

## 月面モビリティ社会の実現に向けたローバーの開発



計画概要: 県内企業等と連携しながら月面探査ローバーを開発し、鳥取砂丘で実証試験等を行う。

企業名: (株)たすく、(株)Exspace (エクスペース)  
〔東京都杉並区 → 県内にも拠点設置予定〕

〔ローバー〕惑星や衛星などで使われる探査車

## SAR衛星データを活用したAIによる農作物等生育予測に関する技術開発・実証



サー

〔SAR衛星〕電波の反射を利用する観測で、天候等に左右されない衛星

計画概要: 県内企業・農業者と連携して、様々な県内農産物の生育状況を把握する実証等を行う。

企業名: (株)スペースシフト  
〔東京都千代田区、米子市、米国デラウェア州〕

○たすく及びExspaceの拠点設置 → 宇宙関連スタートアップの県内拠点設置3件目が実現

## 首都圏での情報発信

### (1) とっとり・おかやま新橋館「8周年」

鳥取県・岡山県の共同アンテナショップとして、平成26年9月28日にオープンし、今年で8周年。  
令和4年10月20日(木) とっとり・おかやま新橋館 平井知事、伊原木知事、キンタロー。、マーティン



キンタロー。 マーティン

### (2) メディア発表・賞味会「鳥取和牛を味わう美食の饗宴」

鳥取和牛の魅力をも、ボキューズ・ドール日本代表シェフ3名交えてPR  
令和4年10月25日(火) 「アルジェント」(東京都中央区銀座) 鳥取和牛等によるガラランチ  
平井知事、浜田統之(星のや東京)、高山英紀(アントルヌー)、石井友之(アルジェント)



写真はイメージです。

### (3) メディア向け公開収録「とっとり いいとこどり らじお」

星空舞など、鳥取県の食の魅力をもPR  
令和4年10月25日(火) 東京FMホール(東京都千代田区麹町)  
平井知事、瀧本美織、和田明日香(料理家)、中江康人(AOI TYO Holdings)



平井知事 瀧本美織 和田明日香 中江康人

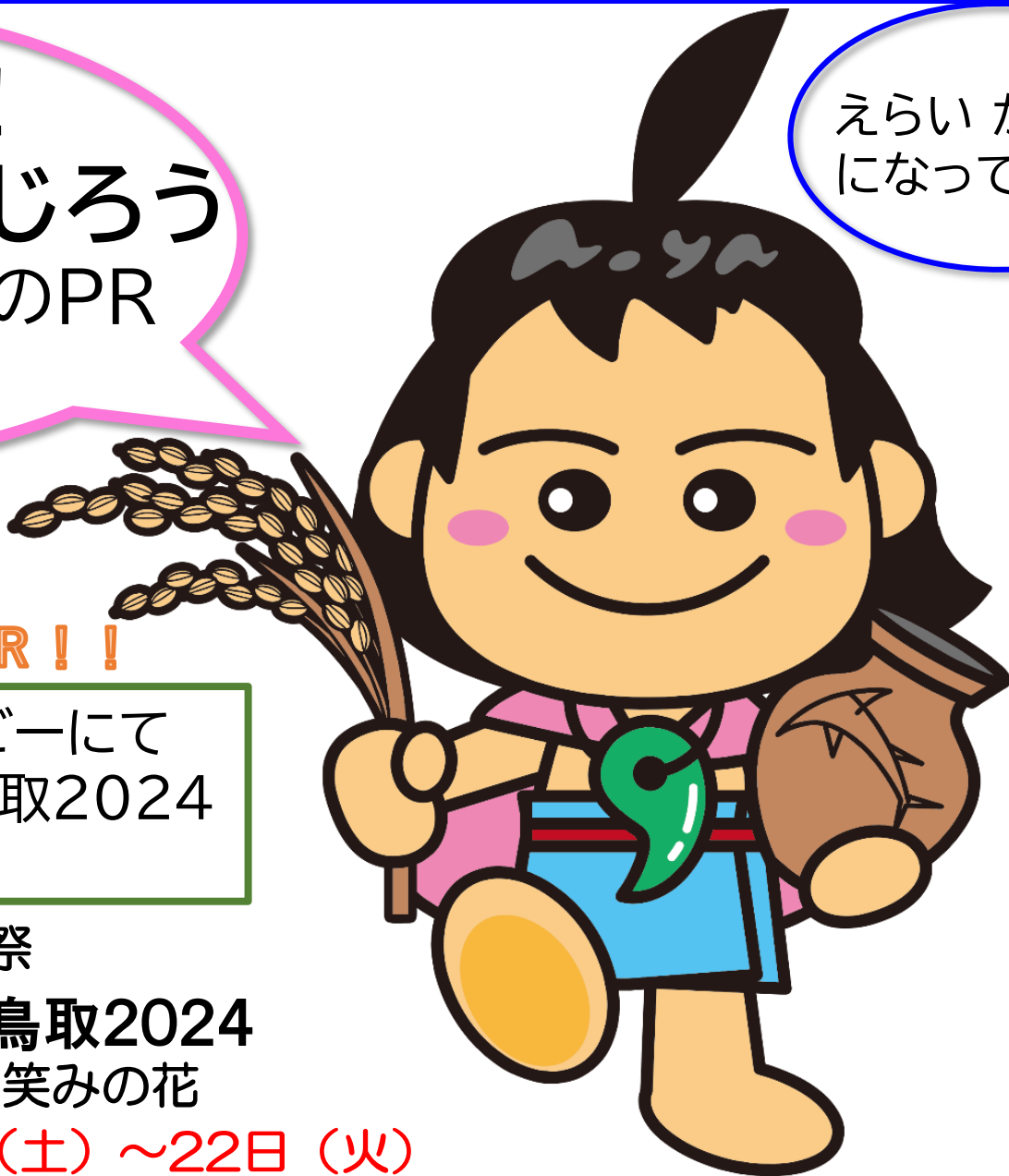
# 「青谷弥生人」キャラクター誕生しました！

はじめまして！  
ぼく、あおや かみじろう  
とっとり弥生の王国のPR  
がんばるよ！

えらい かわいげ  
になってえ！



オリジナル  
「青谷上寺朗」



初仕事は「ねんりんピック」PR！！

本日11:45～ 県庁1Fロビーにて  
「ねんりんピックはばたけ鳥取2024  
開催2年前イベント」



第36回全国健康福祉祭

ねんりんピック はばたけ鳥取2024  
咲かせよう 砂丘に長寿と 笑みの花

令和6(2024)年10月19日(土)～22日(火)

青谷かみじち史跡公園  
2023年 秋 OPEN



とっとり弥生の王国に  
新たな魅力が誕生します。

国内屈指の弥生時代遺跡“国史跡 青谷上寺地遺跡”を体感！